

2月15日(日)／DV防止講座「アンガーマネジメント×怒らない体操」
気持ちスッキリ!!イライラとうまく付き合おう

生涯学習センター（大字大島）にて、「アンガーマネジメント×怒らない体操」が開催されました。動きや呼吸で身体を整えて、誰もが抱く怒りやイライラを上手にコントロールする方法を学びました。

人権・男女共同参画推進課



参加者コメント「体操の基礎として習った仙骨（せんこつ）を立てることを意識していきたい。」「子どもを叱るときや誰かが怒っているとき、怒りの原因となっている感情を考えようと思った。」

1月25日(土)・2月1日(土)／健康講座
健康で活発な地域コミュニティの形成

杉戸町コミュニティづくり推進協議会（健康・青少年部会）では、自主的な健康づくり活動の推進や普及を図るため、中央公民館（杉戸3丁目）で健康講座「健康ストレッチ（入門ヨガ）」を実施しました。参加した方は、「体を動かすきっかけづくりができました。今後も続けられればと思います。」と話していました。

住民協働課



今後、参加者同士の交流の輪が広がり、健康で活発な地域コミュニティが形成されることを期待しています。

1月31日(金)・2月1日(土)／協働型災害訓練in杉戸
つながることは備えること

杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進協議会では、東日本震災の経験と教訓を生かすため、防災関係者と行政を対象にした大規模災害・首都圏災害に備えた訓練を、2日間にわたり、実施しました。

くらし安全課



この訓練では、「災害復興法ワーク（リーガルニーズ）」「リアルペット避難所運営（ペットニーズ）」「協働型災害訓練（災害支援リーダーズ研修）」を実際に体験しながら学びました。

異文化との触れ合い

11月21日(木)／イラン・イスラム共和国大使館、船の科学館（東京都）



杉戸町国際交流協会主催の国際協力・理解講座としてイラン・イスラム共和国大使館訪問と船の科学館を見学しました。23名が参加し、日本から14時間かかるイラン・イスラム共和国について学びました。また日本初の南極観測船「宗谷」を見学しました。日常では触れることができないものを見学し、とても刺激を受けました。

広報特派員 渡辺 光子

1月20日(月)／認知症サポーター養成講座
高齢者にやさしい地域づくり

杉戸町役場（清地二丁目）にて、「認知症サポーター養成講座」が開催されました。当日は15名が参加し、講義や班ごとにグループワーク、クイズなどで認知症の仕組みや予防、認知症の方への接し方など、事例や実演を交えて学びました。

高齢介護課



参加者には、認知症サポーター養成講座の修了証としてオレンジリングと埼玉県認知症サポーター証が渡されました。

1月22日(水)／要援護者あんしん見守りネットワーク全体会
もしもの時に備えて

すぎとピア（大字堤根）にて、「地域で暮らす高齢者とその支援者の災害時の対応と備え」について、一般社団法人 全国地域生活支援機構の重田誠氏を講師とした講演会が開催されました。事例を交え、「災害時の心得」や「災害に対する準備」などのお話を聞くことができました。

高齢介護課



当日は、172名が参加し、講演内容について真剣に耳を傾ける様子が見られました。

1月23日(木)／駅ホーム声かけサポート講習会
駅ホームでの声かけにご協力を

「駅ホーム声かけサポート講習会」を宮代町と共同開催しました。体験の会場となった東武動物公園駅のホームでは、介助者役と視覚障がい者役に分かれて、声かけや誘導を体験しました。

政策財政課・福祉課



線路への転落、列車や他の乗降客との接触など、危険性や不安を実際に感じながら声かけの必要性について理解を深めました。

1月10日(金)／杉戸町福祉ギャラリー開設
障がい者への理解促進をめざして

町では、毎年12月3日から9日までの障害者週間において「アールブリュット展」を開催しており、たいへん好評を得ていることから、障がい者の美術作品を役場庁舎の壁面やオープンスペースに展示することになりました。

福祉課



障がい者の社会参加と美術的表現の場とすることで、来庁者に障がいへの理解を深めていただきたいと考えています。

1月18日(土)／杉戸町コミュニティ祭
日ごろの練習の成果を披露

生涯学習センター（大字大島）にて、杉戸町コミュニティ祭が開催されました。このイベントは、町内で活動を行っている団体の発表の場として、平成8年度から実施しているものです。「心のふれあう住みよい杉戸」をテーマに、町内で活動している大正琴、ダンス、三味線など21団体の多彩な発表が盛大に行われました。

住民協働課



当日は約200名の鑑賞者が訪れ、会場内は団体の発表が終わるごとに、拍手と喝采で大いに盛り上がりました。

1月19日(日)／第35回彩の国21世紀郷土かるた杉戸町大会
勝利をめざして真剣勝負

西公民館（高野台西3丁目）にて、杉戸町子ども会育成連絡協議会主催の「第35回彩の国21世紀郷土かるた杉戸町大会」が開催されました。各地区予選を勝ち抜いた団体24チーム、個人22名が集い、競い合いました。

社会教育課



選手の方々は、大会に向けて日々練習を重ねて臨んだ結果、本番会場では白熱した試合を繰り広げました。

特派員レポート
広報特派員によるスナップレポートをお届け

地域住民の絆を深めよう

12月14日(土)／前丁張公園



高野台南自治会主催による「第7回タカミン☆フェス」が開催されました。軽スポーツや縁日、抽選会が実施され、子どもから大人まで楽しんでいる姿が見られました。家族揃って参加できる行事として70名が参加し、次回もぜひ参加したいとの声がたくさん聞こえてきました。

広報特派員 畠山 千鶴子

じいのボランティア

1月10日(金)／下高野交差点



大栄団地在住の土田馨さんは、通学児童の事件・事故防止のため、登下校の見守りをしています。少しでも子ども達の役に立ちたいという思いから始めて5年が経つようですが、暑い日も寒い日も毎日続けています。今日まで事件・事故に巻き込まれることなく見守っており、この見守りのおかげで子ども達も安心して学校に通学できていると思いました。

広報特派員 渡辺 光子